



ひよどりっ子

第46号
H29.10.1

北区青少年育成協議会ひよどり台支部
発行責任者:支部長 林 喜久治
TEL・FAX:7 4 3 - 0 7 9 8
編 集:K d e s i g n

「ありがとう」のあふれるひよどり台に！

ひよどり台小学校教頭 岩橋 健蔵

本年4月にひよどり台小学校へ着任いたしました教頭の岩橋です。皆様、どうぞよろしく願いいたします。

私は、「ありがとう」という言葉が好きです。自分で言うのも、他人から言われるのも。言っても、言われても、その後なんだか心がほっこりするからです。「あいさつは、心と心をつなぐ架け橋」とよく言われますが、特に「ありがとう」の一言は、人と人が仲良く気持ちよく生活していくための潤滑油のような役割をしていると思います。でも、自分を振り返ってみると、実際の生活場面では、なかなか言えなかったり、言いそびれたりすることがまだまだたくさんあります。そんな時は、後で「ああ、ありがとうって言えばよかった。」と後悔の念ばかりがたってしまうのです。



そんな私ができるだけどんな場面でも、「ありがとう」を言えるように心掛けていることが2つあります。一つは、あらゆることに感謝の気持ちを持つこと。もう一つは、「当たり前だ」という考え方を改めること。特に、「当たり前」の気持ちをなくすよう心掛けています。たとえば、駅員さんにどの電車に乗ったらいいか教えてもらった時、「駅員だから、教えるのは当たり前だ」ではなく、「助かりました、ありがとうございます」と言葉にして言う。お医者さんにお世話になった時、「それが仕事だから、当たり前だ」ではなく、「診ていただいて、ありがとうございます」と言うようにしています。現在の私たちの生活は、便利さで満ち溢れていて、なんでもしてくれる、やってくれる、あるのが「当たり前」となっていて、そのためついつい傲慢な気持ちが強くなってきているような気がします。しかし、何事にもその背景にはそれに携わる様々な方の配慮や努力などがあって成り立っているのだということを忘れてはならないと思います。

人間は、言葉という表現方法を持つ唯一の動物です。言葉を言わなければ、何も通じません。乱暴な言葉や荒っぽい言葉は、自分の心も相手の心も傷つけます。それを言ってしまったばかりに、イラついたり、寂しい暗い気持ちになったりします。きれいな言葉はきれいな心を作ります。優しい言葉は優しい心を作ります。

ひよどり台小学校の子供たちは、「おはよう」というときちゃんと「おはようございます」と返してくれます。とても素直で、優しい子たちばかりです。しかし、まだまだ自分から、笑顔であいさつはできていません。私は、このひよどり台の地区にもっともっとあいさつの言葉が飛び交うようになるために、まず進んで「ありがとう」を言っていきたいと思います。

ひよどり台の青少年の安全を願って！

青少年育成協議会ひよどり台支部長 林 喜久治

今年の6月から、「青少年育成協議会ひよどり台支部（あと、青少協といいます）」の支部長を前高橋支部長さんから引継いだ林と申します。

支部長として引継ぐことに急なこともあり不安があるのですが、青少協は長い歴史をもち、高橋前支部長はじめ先輩諸氏がいままでに築き上げてきたしっかりとした活動基盤がありますのでこれを守って、いままで通りの活動を目指したいと思います。

ここでは、青少協の活動について少し紹介したいと思います。

規約では、青少協の目的は「地区住民と協働して、次代を担う青少年が夢と希望をもって自立と自己表現を図るとともに社会への貢献を果たすよう、青少年の育成及び青少年を取り巻く環境の整備を進めること」となっています。現在、育成委員は34名が委嘱されています。

主な活動は、PTAと連携する夜間パトロール、見守る会と連携する通学路の登校指導、こども110番、機関紙ひよどりっ子の発刊、青少年の居場所づくり事業として、秋を楽しむハイキング、どんどまつり、ふれあい春の子どもまつりなどがあります。また、地域の他団体の青少年の関わる活動（学校のひよどり台っ子応援団、評議会、見守る会活動、山の学校のプレーパーク、防災福祉コミュニティの防災ジュニアチーム、連合自治会の防犯活動、ふれまち協の福祉活動等など）に協賛して参画しています。

ひよどり台の子ども達は他の地域と比べると挨拶もでき、素直に育ってくれています。これからも子ども達の安全を願って、しいてはひよどり台の安全・安心を願って、これらの活動を続けていきたくと思っています。

秋を楽しむハイキング

ひよどり山プレーパーク共催



日時 11月5日(日)午前9時集合
場所 ひよどり台中央公園⇔しあわせの村
参加費 こども:300円 おとな:500円
参加申込 学校などで配布の申込書で10月12日までに



さわやかな秋の一日をご家族・友だちとハイキングのあと、みんなで楽しくバーベキュー。

「ここは本当に神戸なのか」

鶴台中学校PTA会長 石井 静恵

2005年2月、更地と電柱と僅かの住宅会社のテントしかない南町を見た私の第一印象。それまで、県内だが市外の平地で育った私には「神戸」と言えば海側のイメージしかなかった。なので、公共交通機関で「実家から神戸駅」までの時間がほぼ同じというのはもはや神戸ではないのではなかろうか？というのが正直な感想だった。

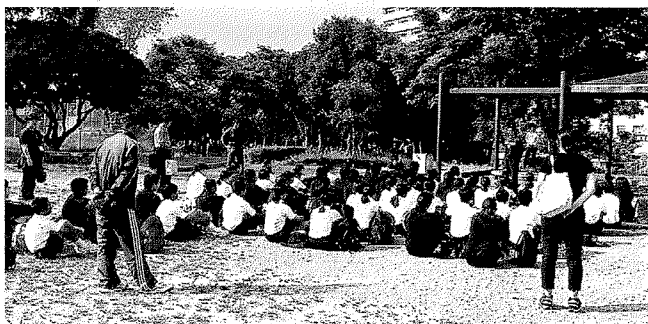
しかし、住めば都とはよく言ったもので、ご近所さんはいい人ばかりだし、山なので空気も澄んでいる。子供の同級生も小学校に上がる頃にはかなりの人数になった。

そして、その頃に初めて「見守る会」の存在を知ることになる。

これは、特に小学生の子供がいないと身近に感じることはないと思うが、とにかくパワフルなシニア世代の方々为中心となり、活動されている会。ここ数年で、保護者もある程度参加しているが、毎朝、危険個所での登校の見守り・授業時間中は2時間ごとの玄関当番・木曜の「のびのびひろば」etc きりが無いほどの活動量だ。

その中でも私が「負けた」と思った1日がある。

5年前の夏、お昼にプレーパークの流しそうめんやスイカ割り、スライダーなど盛りだくさんなイベント終了後、へとへとになった私は家に帰ってがっつり昼寝をし、エポック夜店のパトロールに出かけた。そこにはすでにお昼に活動されていた見守る会の皆さんが、



どうやらプレーパーク後にお茶をしてから再び集合したらしい。失礼ながら、私の親より少し上の世代である。完敗だった。

今年は中学の役員なので、プレーパークのお手伝いはなかったが、夜店のパトロールに行くと、やはりいつもの顔ぶれがあった。道すがら、年齢問わず子どもたちに声をかけたりかけられたりする。小学校の先生より、中学校の先生より、子ども達のことをよく知っている。そして、これはきっと海側の神戸にも自慢できる風景ではなかろうかと思う。

「ここは本当に神戸なのか」

あれから12年たったが、今は気に入って使っている。

「みんな なかよし」

ひよどり台幼稚園 日野多美子

ひよどり台幼稚園に勤務して約15年がたちました。その間に大きく変わったのは、大谷幼稚園からひよどり台幼稚園に名称が変更になったことです。また、園舎の建て替え工事も3年前に終わり、すっかり新しくなりました。

私の一日は子ども達の元気な「おはようございます」という声で始まります。少し調子が悪い日でもその声を聞くと「今日も一日がんばるぞー」という気持ちになります。また子ども達が不機嫌な表情で登園してきた



時、先生方のやさしい声掛けで表情が一変します。どのような声掛けをすれば一番ベストなのか、その時、その時の判断はとても大事なことだと痛感します。毎日使っている言葉によって嬉しい気持ちになったり、悲しい気持ちになったりと……。これからは、もっともっと日常で使用する言葉を大切にしたいと思います。

もう一つ気になるのは子ども達の遊びです。幼稚園で見ていると、子ども達は遊びの天才です。次々と上手に工夫して遊びを考えだします。家に帰ればゲームに夢中になる子ども達が増えています。しかし、幼稚園では限られています。その中でいろいろと工夫し、友達と遊ぶ楽しさを学んでいます。園庭で遊ぶのも大好きです。広い園庭で、暑くても、寒くても元気いっぱい外にとびだして遊んでいます。

これからも子ども達と共に歩んで生きたいです。

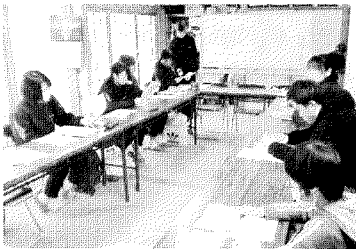
いつもあたたかく見守ってくださっています地域の方々、ご迷惑をおかけしますが、今後ともよろしく願います。



春の子どもまつり

(ジャンケン列車:小6 池本 陽哉)

ジャンケン列車をしたけどすごく大変だったのはおんぶをしたのでこしをいわしそうになりました。けど、みんなとやれて本当に楽しかったです。すごく準備が簡単でしたがほかの準備があったので大変でした。



ほかのとこでも遊ぶのを一番おもしろいと思ったのは、おんぶをしながらジャンケン列車をやることです。おんぶが重くて大変でしたが、みんなとやれて楽しかったです。来年はもっと準備が簡単でいいと思います。

よくやくにたつことができたのでよかったです。また来年もいきたいです。来年はすごく楽しい作品を作りたいです。

(ペットボトルボウリング:中2 今岡 美夢)

今回の春の子ども祭りは、委員として初めて参加しました。今までは、自分が来て遊ぶ側だったけれど、今回は、来た人を楽しませる側になって、とても楽しかったです。地域の小さな子供達から小学生まで、色々な年齢の子とふれ合うことができてよかったです。

私もたくさんの方とコミュニケーションをとり、楽しかったです。また違った楽しみを味わうことができたので、来年はもっと準備が簡単でいいと思います。地域全体の子供達そして中学生が一体となり、祭りに参加できたのは、このひよどり台だからこそできたことだと思います。これからも、ひよどり台全体の人が楽しめるような行事に積極的に参加していきたいです。

(ホールインスリッパ:中2 米岡 敬真)

今回ふれあい春の子どもまつり実行委員として初めてゲームの企画をしました。的を作る時は、前から使っていたダンボールなどを再利用して、壁にはかざりをつけたりして子どもが楽しめるような道具作りをしました。当日の準備は大人の人を手伝いをしてきて、子ども達が遊んでいるときは、手伝いに来てくれた1、2年生と小学生の人を手伝って来て無事ゲームが終わることができました。今回はいろんな人が手伝ってくれてできた企画なのでうれしかったです。

(輪投げ:中2 谷口 実夢)

地域の行事のお手伝いをするのは初めてで、「私にできるのかな」と不安に思っていたのですが、きちんとお手伝いをしてきたと思うのでよかったです。カードを配ったり、ゲームのコーナーにいる時、小さい子がうれしそうに顔を見ることができて、とてもうれしかったです。1日立ちっぱなしだったので少しつかれましたが、うれしそうに顔をまた見ることができれば、またお手伝いをさせてほしいなと思いました。

(つり:中2 成田 結美)

私はルール説明をする担当になり、子ども達にルール説明をしました。30秒という時間の短さに驚いていましたが、ルールをしっかり守ってくれました。磁石が弱いものもあり、苦戦している子が多かったです。つりざおの糸がからまってしまうと、それをほぐすのに時間がかかってしまい、ゲームをストップしてしまったりすることがありました。保護者の方やPTAの方を手伝ってくださったので、並んでいなくても子ども達をあまり待たせてしまうことがなかったのでもう良かったです。つりざおの糸がからまってしまうと磁石が弱くてあまりつれなくて、みんなはやりたいたいと言ってくれたのでよかったです。ふれあい春の子どもまつりのお手伝いをするのは初めてで、子ども相手でもできるの少し不安でしたが、とても楽しそうにゲームをしてくれたので私もうれしかったです。

(POINTサッカー:中2 辰巳 萌)

今回のふれあい春の子どもまつりでは、予想以上に参加人数が多くて驚きました。最初は2、30人く

来てくれたら良いかな...と思っていたけど、時間がたつにつれて、どんどん集まってくれてうれしかったです。特に「POINTサッカー」では、男の子も女の子も楽しんでくれていたみたいで、高学年の子も力強く配慮していきたく思います。他のゲームでもみんな楽しんでくれて、私も楽しかったです。

「ふれあい春の子どもまつり」の行事は、地域の皆さんのおかげで、とても楽しかったです。PTAの方々にも感謝しています。ありがとうございました!!!



(ストラックアウト:中1 香西 陽向)

今回のふれあい春の子どもまつりでは、当日までに準備物をそろえることができるのかと最初は思っていました。しかし、少し汚くなってしまいましたが、何とかそろえることができました。当日では、2人の助っ人、小学校PTAの方も手伝ってくれたり、ボール拾いをしてくださり、おかげで、たくさんの子供も楽しんで帰られたので、大成功だったと思います。

(フリスビー入れ:中2 仲田 鈴)

準備から関わり、行事を成功させるのは難しいです。去年も参加しましたが、立感と違って、今年は、作ってくださった方が、不安で大人まで参加し、笑顔で参加してくれました。不安だった分、みんなの姿を見ることができました。失敗したことは安全面を考へることができなかつたです。頭を使って考えることも必要だけど、体を使って参加者の気持ちになって準備すると、よくなつた感じがします。みんなで協力しておさえ、けがなく終わることができたことが一番よかったです。



(落書きコーナー:小6 松岡 にこ)

最初はぜんぜんだれも来なくてポイントゲームとかの人がうらやましかつたけど、ちょっと時間がたつたらちょっとずつ小さい子とかがふえてきてポイントゲームの所に行く子がへってきて逆転した感じで気持ちよかったです。紙皿につけるひもを考へてつけるとき、1回目に考へたひもはすぐにもつてかれたけど、2回目に考へたひもはぜんぜんもつていってもらえなかつたです。最後はかみざらなくなるまで、みんな使ってくれてうれしかったです。カレーがめっちゃおいしくて、2回食べれました。また来年カレー食べに来たいです。



ふれあいのページ



副支部長20年、支部長を14年！

前支部長 高橋 貞美

長年にわたり小中学校の先生・PTA・地域のボランティアの方々のご協力をいただき支部の役員を務めることができ、ありがとうございます。皆さんのご協力で朝の立ち番も続け子どもたちからも元気をもらいました。

昭和50年に団地ができたときにひよどり台に住み始め、4月に小学校も開校しました。当時は高層住宅もセンターの商店もまだありませんでした。そして、しあわせの村のエリアも田んぼと山・池が広がるだけで、野草採りにも行きました。

私はボーイスカウトには昭和36年に兵庫区の団に入り、昭和53年3月にひよどり台で神戸第65団の発団式を行いました。小学校の初代大西校長先生のご厚意により、体育館を使用させていただき近隣団のスカウトの参加を得て盛大に行うことができました。

ボーイスカウトでは日本ジャンボリー・世界ジャンボリーと幾度も参加して全国にたくさんの友人を得ることができ現在に至っています。

この様な関係で青少協等のお世話をするようになったのです。このひよどり台支部の育成委員も昭和56年発足以来延べ約500名を数えるところとなっています。今ではふるさと行事として盛大に開催していますお正月の“どんどまつり”も、始まりはボーイスカウトのメンバーだけの小規模なものでした。



また「秋を楽しむハイキング」は平成19年に始め、「ふれあい春の子どもまつり」は、昭和57年に「第1回春休み子供のつどい」としてひよどりごえ森林公園で開催。以後、雨天で中止となった時もありましたが35回を数えます。現在では子ども実行委員による1月からの企画、平成18年から小学校のひよどり台太鼓・平成23年からは中学校の吹奏楽部の協力を得て地元の方々が待ち望む行事となっています。

機関紙の発行も昭和56年に支部発足のお知らせを第1号に、途中で年2回発行とすることができ、小中学校PTAの協力を得て、今回で46号を迎えます。

阪神・淡路大震災の時は、私は市役所に勤務していました関係で職務に専念しなければいけなく、ボランティア活動に行くことはできませんでしたが、ボーイスカウトの地区委員長として、スカウト・指導者の皆さんにボランティア活動をお願いしました。

ひよどり台で公募されていた名前の募集に応募し、私の案が採用されひよどり台交流プラザ・元気クラブの名づけ親ともなっています。

ひよどり台支部活動報告

- 29. 3/12 第35回ふれあい春の子どもまつり
1月9日、2月12日と子ども委員の熱意のこもった充実した実行委員会での準備により、多くのゲームが計画され、閉会前には小学校のひよどり台太鼓の演奏で締め、大勢の子どもに参加だけでなく、地域の皆様・保護者の方々が駆けつけていただきました
- 29. 6/7 児童館運営委員会
- 29. 6/11 29年度支部総会（29年度のスタート）
- 29. 6/13 青少協北区理事会
- 29. 7/2 青少協支部役員会
- 29. 7/22 プレーパーク（そうめん流し他
エポック夜店
- 29. 7/27-8/10 ラジオ体操
- 29. 7/29 しあわせの村まつり
- 29. 8/12 ひよどり台夏まつり
- 29.10/ 1 青少協第2回支部会議、
広報紙No.44発行（団地内全4,000戸に配布）



登校時、下校時随時の通学路の交通安全指導

定例の夜間パトロールに加えて、夏休み中の7/22のエポック夜店、7/29のしあわせの村まつりのパトロールを小・中学校PTAの方々と実施

夏休み中学校PTAの夜間パトロールに同行

こども110番の家・店……小学校PTAのご尽力で、164か所のご協力をいただき地域内に所在し、子ども達の安全を見守っていただいています

ひよどり台小学校のこどもたちを見守る会(5/13総会)

ひよどりっ子のびのびひろば 1・2年生毎週木曜日

ふれあいのまちづくり協議会(4/15総会)

ひよどりふれあい懇話会(6/29)

ひよどり台元気クラブ(6/3総会)

ひよどり台交流プラザ

ひよどり台っ子応援団

今後の予定

- 29.10/15(日) ひよどり台ワイワイフェスタ
- 29.11/ 5(日) 秋を楽しむハイキング（しあわせの村）
テントキャンプ場で実施。詳しくは別に、学校・保育所などを通じてお知らせします
- 30. 1/14(日) どんどまつり
- 30. 2/18(日) 第3回支部会議
広報紙No.47発行（団地内全4,000戸に配布）
- 30. 3/18(日) 第36回ふれあい春の子どもまつり

編集後記

秋の行事をお知らせする号です。2学期早々のお忙しい中でのお願いにもかかわらず、原稿をお寄せいただきました皆さまにはありがとうございます。紙面をお借りいたしまして、厚くお礼申しあげます。子どもたちの感想文もご覧願います。（小学校PTA）